



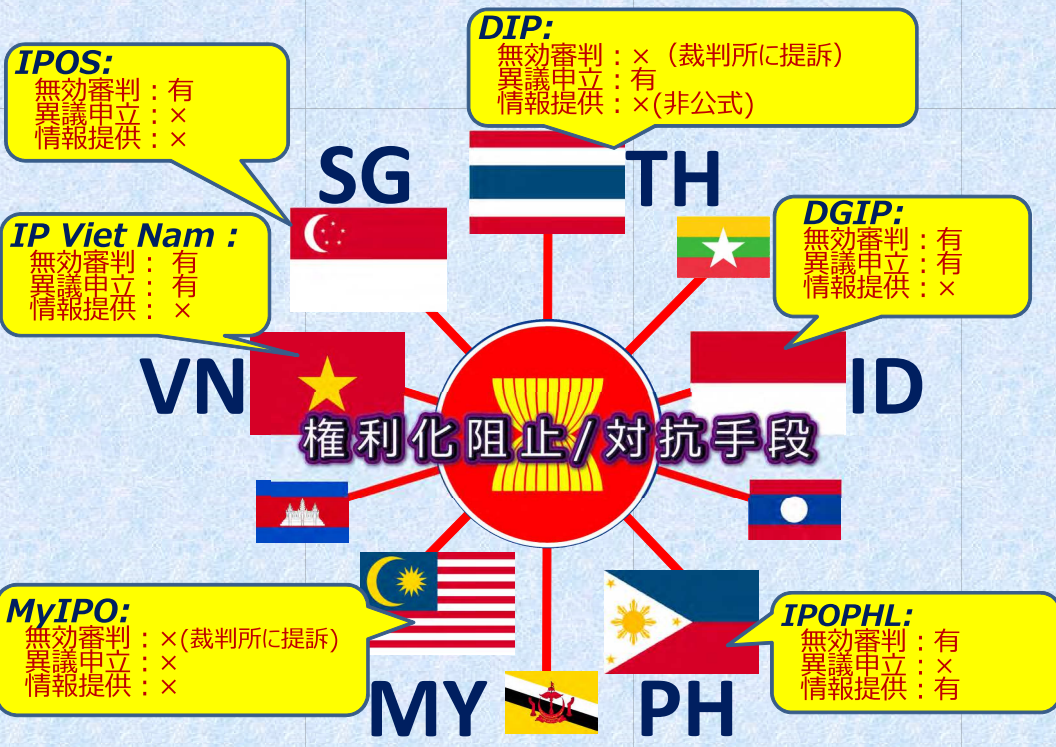
対象地域：ASEAN、インド、中東、オセアニア

首藤 委員長  
(パナソニック)

活動狙い：実務に役立つ“情報の取得、要望の発信を積極的に推進”  
モットー： 実態にとことんこだわる  
コラボ：アジア戦略PJ

活動テーマ：ASEAN-6における特許の権利化阻止/対抗手段に関する調査・研究

活動の狙い：各国における有効な対応・手段を調査する。攻撃側・防御側が取り得る手段を国毎に整理して提案する。



主要課題：情報収集が困難であり(統計データ・事例の少なさ、言語) 実効性に関する情報も不足。  
活動内容：ネットでの情報収集、有識者と意見交換を通じ提言をまとめる

アウトプット 知財管理誌に論説を投稿

活動テーマ：トルコ特許法改正と運用実態の調査研究  
活動の狙い：大幅な法改正後の現場実態に基づく 権利取得、及び権利行使上の留意点明確化



《切り口》  
・旧法と改正法を対比し実務留意すべきポイントの洗い出し  
・調査団を派遣し現地実態を把握。疑問点の解消、留意点の明確化

アウトプット  
-「トルコ調査団報告書」 発行  
-「トルコ特許法に置ける権利取得、および権利行使上の留意点」 改訂本発行

《改定本イメージ》 逐条邦訳+実務上のワンポイント

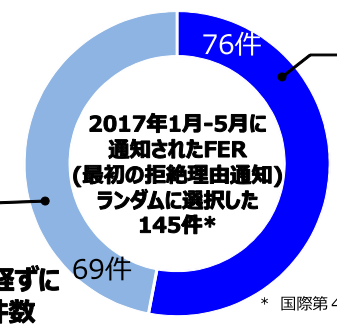
2. 目的  
2.1目的と範囲(法第1条) ←新法の条文番号に更新  
本法の目的は、…、特許、…に関する権利を保護し  
ワンポイント (実務上の留意点)  
旧法では○○だったが、法改正後は○○になったので、○に留意

活動テーマ：特許出願の審査におけるヒアリングの調査研究  
活動の狙い：ヒアリングの運用実態を把握し、より良い権利を取得するための、ヒアリングへの対応方法を提言



《最近の動向》  
最近登録されたインド特許出願を確認すると、高いヒアリング実施割合

《最近のヒアリング件数の動向》  
2015年 2722件  
2016年 5210件  
2017年 9924件  
2018年 9516件  
2019年 12992件  
(2019年8月17日まで)



《情報収集先》  
・JPO国際協力課  
・JETRO  
・インド工業連盟  
・インド特許庁長官  
・インド審査官  
・現地事務所

《研究の内容》インド審査官はじめ有識者との意見交換を通じて ヒアリングの運用実態を分析し、その留意点をまとめる

アウトプット 知財管理誌に論説を投稿